

# 令和06年6月（第2回）岩倉市議会定例会

## 一般質問通告要旨

### 1 榎谷 規子 議員

- 1 家族・親族が担ってきた役割を果たす人がいない高齢者に継続的に支援する取組を
  - (1) 介護保険、行政手続の代行など、相談の状況はどうか。体制はどうなっているか。
  - (2) 入院、施設入所における保証人、緊急連絡先等の相談は。現状はどのようになっているか。
  - (3) 総合的な相談窓口の設置を。公的支援の仕組みを。
- 2 子どもたちの権利・尊厳を大切に
  - (1) 生理用品を学校のトイレに。
  - (2) 健康診断での配慮を。
  - (3) 学校給食の無償化を。不登校の児童・生徒にも給食を。
- 3 市民の交通権の保障を
  - (1) すこやかタクシーの利用年齢の引き下げを。
  - (2) ふれ愛タクシーの課題の解決に向けての動きはどうか。
  - (3) 国の交付金を利用したの補正予算に計上した「ふれ愛タクシーチケット」の利用はどうだったのか。
  - (4) 近隣市のコミュニティバス・巡回バス路線からの延伸の要望を強めるべきでは。
    - ① こまき巡回バスこまくる
    - ② 千秋ふれあいバス

### 2 木村 冬樹 議員

- 1 平和憲法をもつ日本なのに、「戦争する国」に向かっていないか
  - (1) 国会の動き、特に地方自治法「改正」案の影響をどう見ているか。
  - (2) 自衛隊機の部品落下事故をどう考えたらよいのか。
  - (3) 自衛官募集のための個人情報提供の除外申出の状況はどうか。
- 2 ジェンダー平等・多様性尊重のまちを目指して
  - (1) 本市の女性管理職の割合はどうなったか。
  - (2) 「消滅可能性自治体」の議論をどう見ているか。
  - (3) 本市はなぜパートナーシップ・ファミリーシップ制度を導入しないのか。市長の見解は。
- 3 健康保険証を廃止しても問題ない状況になっているのか

- (1) マイナンバーカードの普及状況、マイナ保険証としての活用状況はどうなっているか。
- (2) 依然として、資格確認トラブル、医療情報誤登録、なりすまし事件などが起きているが、本市が関わる場所での状況はどうか。
- (3) 保険証廃止後の対応は万全なのか。（保険証の期限、資格確認書の送付、保険料・税滞納への対応、生活保護への対応）

#### 4 本当の意味での「こどもまんなか社会」を実現するために

- (1) 「こどもまんなか応援サポーター宣言」直後に、どうして保育待機児童が発生したのか。
- (2) 76年ぶりに改善された保育士配置基準をどう具体化していくのか。
- (3) 「こども誰でも通園制度」で想定される多くの課題を国に意見していくべきではないか。

#### 5 ランドセル文化を考える

- (1) 「置き勉」「ランドセル症候群」の状況はどうか。
- (2) ランリュックやリュックセルの利用など、個人の選択は尊重されているか。

### 3 片岡 健一郎 議員

#### 1 岩倉市公共下水道整備計画について

- (1) 現在の下水道普及率はどのようか。
- (2) 今後の下水道整備計画はどのようか。
- (3) 下水道整備計画を立案するに当たりどのような協議がされ、整備する地域を決定しているのか。立案前に地域のニーズを把握することはしているのか。
- (4) 現在の下水道への接続率はどうか。地域によって接続率の低いところはあるか。
- (5) 下水道を効率的に整備することは重要と考えるが、下水道への接続を見込める地域、いわゆる市民のニーズが高い地域を優先させるのは有効的な税金の使い方だと考える。このような優先度をつけて整備を進める考え方について当局の見解を問う。

#### 2 岩倉桜まつりについて

- (1) 5年ぶりに開催された岩倉桜まつりであったが、コロナ禍前と比較し変更した主な内容はどのようだったか。また、来場者数は平成30年の開催時と比較しどうだったか。
- (2) 来場者数が減少したことをどう捉えているか。今後はコロナ禍前の水準に戻すことを考えているのか。
- (3) 変更した点についてどのように評価しているか。開催後の市民からの声はどうか。

- (4) 駐車場については思い切って縮小し予約制とし公共交通機関での来場を促した。一方で岩倉駅周辺など駐車場を探す車で渋滞が発生した。しかし、今後も同規模の駐車場に留め公共交通機関を利用していただくことに注力していくべきと考える。当局の見解はどうか。
- (5) 市のSNSを積極的に活用して、桜まつりの情報を積極的に発信してはどうか。
- (6) 岩倉市の公式YouTubeを利用し、桜の状況をライブ配信してはどうか。

### 3 自転車活用推進計画について

- (1) 自転車の交通違反に反則金を納付させる、いわゆる青切符による取締りを盛り込んだ改正道路交通法が成立したが本計画への影響はどうか。
- (2) 計画の内容には自転車を取り巻く環境の改善が含まれると思うが、特に市内3つの駅周辺の駐輪環境の改善についてはどうか。
- (3) 市役所の駐輪場について市の見解を問う。
- (4) 市役所を利用する目的ではない方が駐輪することにより、市役所を利用する方が駐輪できない、または、駐輪しづらい状況について当局の見解を問う。
- (5) 駐輪可能な時間帯を開庁時間からとすることはできないか。

## 4 塚崎 海緒 議員

### 1 一般質問について問う

- (1) 執行機関にとって一般質問とは何か。
- (2) 不公平な答弁書の扱いについて市の考え方を問う。
- (3) 再質問について市の考えを問う。

### 2 消防セクハラ問題について

- (1) 市長部局  
岩倉市職員ハラスメント防止指針改訂の状況はどうか。
- (2) 市長部局  
行為者と被害者に対するメンタルケアはどうか、また、面談・カウンセリングの実施状況はどうか。
- (3) 消防本部  
職場環境回復へ向けての配慮について問う。
- (4) 市長部局  
ハラスメント撲滅のために徹底した安全配慮義務の遂行を。

### 3 こどもまんなかアクションについて

- (1) 入学支援として、経済的負担の軽減のための独自施策が必要では。

## 5 谷平 敬子 議員

## 1 「食育」について

- (1) 「食育」の重要性については、どのように考えるか。
- (2) 朝食を食べていない児童生徒の把握はできているのか。
- (3) そのような児童生徒の保護者への対応はどのようなか。
- (4) 将来的に親元を離れる生徒に料理教室の開催はできないか。
- (5) 「食品添加物」のメリットとデメリットをどう考えるか。
- (6) 学校給食で使用される調味料は、どのように決められているのか。
- (7) 食に関する講演会やセミナーを開催してはどうか。

## 6 井上 真砂美 議員

### 1 「ぷらっとパーク」で使われている旅の思い出記念スタンプ「五条川のんぼり洗い」について

- (1) 尾張一宮パーキングエリア（上り線）「ぷらっとパーク」の記念スタンプを「五条川のんぼり洗い」にした経緯はどのようなか。
- (2) 「五条川のんぼり洗い」は岩倉の観光名所であるから、岩倉をより主張してはいいかがか。
- (3) 「五条川のんぼり洗い」スタンプの近くに、こいのぼり柄の手拭いや岩倉の特産品等の販売コーナーを設置してはいいかがか。

### 2 小学校社会科副教材「わたしたちのまちいわくら」の利活用について

- (1) 副読本「わたしたちのまちいわくら」の現状について。
  - ① 利用学年、利用頻度等はどのようなか。
  - ② 学校保管となった経緯はどのようなか。
- (2) 教材をデジタルデータ化して、個人で学習に利活用してはいいかがか。

### 3 小中学校の特別教室（調理室、工作室、裁縫室）や備品（電動工作機、ミシン）を、学校での利用がない時に地域の方が利活用することについて

- (1) 小学校の特別教室の利活用状況はいいかがか。
- (2) 特別教室にある備品の利活用状況はいいかがか。
- (3) 地域のコミュニティの活動として、利活用してはいいかがか。

## 7 鬼頭 博和 議員

### 1 プラスチックごみの回収について

- (1) プラスチックごみ回収の現状はどのようなか。
- (2) プラスチック製品回収についての検討状況は。
- (3) プラスチック製品リサイクル（再商品化）についての検討状況は。

- (4) プラスチック製品の一括回収に対する市民周知はどのようなか。
- (5) ごみ減量のためにリサイクルに対する啓発を推進するべきではないか。

## 2 保育園等における保育環境の整備について

- (1) 本市の保育園等における要支援児童、要保護児童及びその保護者等への対応はどのようなか。
- (2) 保育園等での児童及び保護者との様々な問題、トラブルなど対応が難しい場合の対応はどのようなか。
- (3) 保育園等で起こる様々な問題に対処するため、保育ソーシャルワーカー（地域連携推進員）を配置するべきではないか。
- (4) 本市の医療的ケア児への支援の現状はどのようなか。
- (5) 私立幼稚園、認定こども園等の医療的ケア看護職員の配置への経費補助はどのようなか。
- (6) 私立幼稚園に対しても医療的ケア看護職員配置への経費補助をするべきではないか。

## 8 堀江 珠恵 議員

### 1 学校給食の課題について

- (1) 学校給食の献立はどのように決定されているのか。
- (2) 物価が高騰している中、食材の選定・調達はどう工夫をされているのか。
- (3) 1食当たり小学生270円・中学生300円の給食費で賄えているのか。
- (4) 今後も物価が高騰していく中で、質の担保への懸念点をどう考えているか。

### 2 ファミリー・サポート・センター事業の今後について

- (1) 現在、援助会員の年代層は。
- (2) 援助会員へのアンケートなどで現状やどんな思いでやられているのか把握をしているか。
- (3) 依頼会員・援助会員との交流会はどの程度されているのか。
- (4) 援助会員を増やすための取組について。

### 3 予防・健康づくりに欠かせない、かかりつけ医について

- (1) 20代から50代でかかりつけ医を持っている人の割合はどのくらいか。
- (2) 市民へのどのような内容の情報提供をされているのか。
- (3) 市内市外問わず、患者の状態を共有できているか。また医師が連携を取り、休日・夜間も患者に対応できる体制は取れているのか。

## 9 大野 慎治 議員

- 1 カスタマーハラスメント防止対策について問う
  - (1) カスタマーハラスメントとは。
  - (2) カスタマーハラスメントとして考えられる行為は何か。
  - (3) 本市としてカスタマーハラスメント対策をどのように考えているのか。
- 2 契約不適合責任について問う
  - (1) 契約不適合責任とは。
  - (2) 契約不適合責任と瑕疵担保責任との違いは。
  - (3) 竣工後の1年点検、3年点検など定期的な点検が必要ではないか。
- 3 相続登記の課題について問う
  - (1) 能登半島地震において公費による解体の課題が浮き彫りになっているが、本市において、所有者不明の家屋、相続登記の問題について、どのような課題があるか。
  - (2) 相続登記等がされていない家屋については、どのような措置・周知を行うのか。

## 10 水野 忠三 議員

- 1 本市内の公共施設等に対する悪質ないたずらについて問う
  - (1) 公共施設等に対する悪質ないたずら(器物損壊等)などについて、現状認識は。
  - (2) これまでの防止対策等の内容及び運用状況は。
  - (3) いたずらの行為者等に対する民事上及び刑事上の責任追及について、見解は。
  - (4) いたずらを受けた公共施設等について、利用制限などを設ける場合があると思うが、方針等について、見解は。
  - (5) センサーや防犯カメラ等の新規設置及び安全安心カメラの利活用等についても検討すべきと考えるが、見解は。
  - (6) 広報などを通じて、市民へのさらなる注意喚起、意識喚起等も必要と考えるが、見解は。
  - (7) 今後の防止対策等について問う。
- 2 本市内の保育園の災害対応等について問う
  - (1) 保育中に災害が発生した場合の対応は。
  - (2) 災害発生時の保護者等への連絡方法は。
  - (3) 災害発生後のお迎えの対応は。
  - (4) 保護者等がお迎えに行けない状況への対応は。
  - (5) 離婚した(子の監護をしていないほうの)親から安否確認があった場合の対応は。
  - (6) 離婚調停中など、離婚が成立していない(子と別居のほうの)親から安否確認があった場合の対応は。
  - (7) 子どもの利益を最優先に考えた対応等や対策について、今後の取組は。
- 3 こども基本法に関連して問う

- (1) 令和5年4月に施行された「こども基本法」について、子どもの権利を保障するという観点から、認識は。
- (2) 国レベルでは、「社会が子育てを応援し、子どもや若者が幸福になれば、税収が上がり社会保障の担い手が増え、全世代が元気になる」との意見もあるが、自治体(市町村)レベルから観た場合について、見解は。
- (3) こども施策に対し、国や地方公共団体は子どもや関係者などの意見を反映することが同法に明記されたが、見解は。
- (4) 将来の社会を担う子どもや若者たちの意見を聴き、政策に活かしていくまちづくりの実現について、見解は。
- (5) 本市の「こどもまんなかアクション」と併せて、今後の本市のまちづくりについて問う。

#### 4 ふるさと納税の活用等について改めて問う

- (1) 過去3年間の本市のふるさと納税の推移等について、現状は。また、他の自治体への寄附による住民税控除について、現状及び見解は。
- (2) 過去3年間の返礼品の品目数の推移は。また、令和5年度の人気上位の品目と額は。
- (3) ふるさと納税の基準等が令和5年10月に厳格化されたことによる本市への影響は。
- (4) 母校への寄附や特定施策等の推進など、返礼品が伴わないものを新規導入・拡充することについて、見解は。
- (5) 子どもや若者、学生の方などからの提案等を特に募集する取組について、見解は。
- (6) いわゆる「企業版ふるさと納税」について、認識及び今後の方針は。
- (7) ふるさと納税拡大(寄附金額増加など)について、今後の方針及び取組等は。

### 11 梅村 均 議員

- 1 空きびん・空き缶など資源ごみ回収における小牧市との違いがあるが見解は
- 2 ごみ出し困難者からの相談の声は増えていないか
- 3 健康寿命延伸に向けた取組強化を
  - (1) 健康につながる生活習慣づくりの取組は順調か。評価は。
  - (2) 無関心層へのアプローチの見解は。
  - (3) インセンティブ措置の見解は。
  - (4) 野菜摂取量増加策の強化を。
  - (5) ちっちゃイ菜の摂取量増加も併せて推進できないか。
- 4 ブランド野菜ちっちゃイ菜を使ったお漬物のPR強化を
  - (1) 発売後の生産と販売の動向は。桜まつりでの反応は。
  - (2) マグネットシートで、公用車等に張り付けてのPRを行ってはどうか。

## 5 新紙幣対応支援事業（大口町）の考えは

### 12 日比野 走 議員

#### 1 SUPについて

- (1) 五条川に関する活動をしている市民団体に対し、当局はどういった関与をされているか。
- (2) 五条川下流部のごみの惨状をどのように受け止めているか。
- (3) SUPを桜まつりの行事の一つとして参画させることはできないか。

#### 2 就業者移住支援事業について

- (1) これまで岩倉市就業者移住支援事業を利用した移住者は何人か。
- (2) 移住者は岩倉市のこういった部分に魅力を感じ移住先に選んだと聞いているか。
- (3) 岩倉独自のユニークな移住支援事業を展開できないか。

#### 3 NFTについて

- (1) 現時点でのNFT購入者は獲得できただろうか。
- (2) 当局の意向を踏まえて作成されたNFTをふるさと納税の返礼品として出してみているか。

### 13 須藤 智子 議員

#### 1 高齢化社会問題の現状を問う

- (1) 家族介護者の負担感を減らす支援策を。
- (2) 簡略な質問票により、介護者の状態を把握して、有効な支援につなげてはどうか。
- (3) 深刻化する「ケアマネジャー」不足の対応策はどのようなか。
- (4) 訪問介護の「ヘルパー」不足の対応策はどのようなか。
- (5) 身寄りのない高齢者に対する支援策はどのようなか。

#### 2 猛暑に備えた熱中症対策に力を入れるべきではないか

- (1) 体を慣らしていく「暑熱順化」の実践を取り入れてはどうか。
- (2) 今年の4月より、改正気候変動適応法が改正され「特別警戒アラート」の運用を開始したが、岩倉市での対応はどのようなか。
  - ① 「特別警戒アラート」の発令はどのように行うのか。
  - ② 「暑熱避難施設（クーリングシェルター）」の指定は行うのか。

#### 3 相続不動産登記の義務化がスタートしたが、状況はどのようなか

- (1) 相談状況はどのようなか。
- (2) 岩倉市での相続登記がされていない状況は把握しているのか。



- 4 東京都の「カスタマーハラスメント（カスハラ）」の防止条例についての見解は
- (1) 岩倉市での「カスハラ」の状況はどのようなか。
  - (2) 市長の見解を問う。